

平成5年4月

会員各位

(社)日本OR学会中国・四国支部
支部長 尾崎俊治

平成4年度中国・四国支部事業報告、
収支決算並びに平成5年度事業計画、
収支予算送付の件

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当支部につきましては、日ごろ格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、去る4月12日「平成5年度定期総会」を開催し、標記につき審議承認されましたので、ここに同書類を同封にてお届けいたします。

つきましては、なにとぞご高覧のうえ、今後一層のご協力、ご支援の程お願い申し上げます。

敬 具

(社)日本OR学会中国・四国支部
平成5年度支部総会次第

1. 開 会 の 辞
2. 支 部 長 挨 拶
3. 平 成 4 年 度 事 業 報 告
4. 平 成 4 年 度 決 算 報 告
5. 監 査 報 告
6. 平 成 5 年 度 支 部 役 員 の 選 出
7. 平 成 5 年 度 事 業 計 画
8. 平 成 5 年 度 予 算 計 画
9. そ の 他
10. 閉 会 の 辞

(社)日本OR学会中国・四国支部
平成4年度事業報告

1. 総 会 1回

日 時：平成4年3月24日(火) 14:00~15:30
場 所：中国電力㈱
議 題：平成3年度事業報告・決算報告
平成4年度支部役員選出
平成4年度事業報告・予算計画
その他

2. 役 員 会 1回

日 時：平成4年3月24日(火)
場 所：中国電力㈱
議 題：平成4年度支部総会の件

3. 幹 事 会 2回

1回 日 時：平成4年3月24日(火)
場 所：広島東急イン

2回 日 時：平成5年1月 8日(金)
場 所：広島ガーデンパレス

4. 講 演 会 7回(定例講演会1回)

1回 日 時：平成4年3月24日(火) 15:30~16:30
会 場：中国電力㈱本館6-1会議室
(広島市中区小町4-33)
演 題：広島市立大学(仮称)設立について
講 師：石原 道雄 氏(広島市役所 市立大学設立準備室長)
参加者：18名

2回 日 時：平成4年5月27日(水) 14:00~16:00
会 場：広島市工業技術センター3階研修室
(広島市中区千田町三丁目8番24号)
演 題：高度生産システムの設計とマネジメントの展望
講 師：カボロスキー教授
(米国ルイビル大学工学部産業人間工学研究センター長)
(共催 日本経営工学会中国四国支部)
参加者：38名

- 3回 日時：平成4年5月29日（金） 10:20～11:50
 会場：岡山大学工学部情報工学科第10講義室
 （岡山市津島中3-1-1）
 議題：Fuzzy Logic Applications in Management Engineering
 講師：Bürhan Türksen 教授（カナダ・トロント大学教授）
 （共催 日本経営工学会中国四国支部）
 参加者：31名
- 4回 日時：平成4年6月15日（月） 13:30～15:00
 会場：中国電力1号館 4-1 会議室
 （広島市中区小町4-33）
 議題：対話型多目的線形計画法とその応用
 講師：中山 弘隆 氏（甲南大学）
 参加者：23名
- 5回 日時：平成4年7月 1日（月） 14:00～15:30
 会場：岡山理科大学 理大ホール
 （岡山市理大町1-1）
 議題：高度情報化社会の展望
 講師：多田 信吾 氏（関西情報センター理事）
 参加者：22名
- 6回 日時：平成4年9月30日（水） 13:30～14:30
 会場：広島大学工学部第2類C1-112号教室
 （東広島市鏡山一丁目4番1号）
 議題：マルコフ連鎖における Quasi-distribution について
 講師：木島 正明 氏（筑波大学大学院経営システム科学専攻）
 参加者：13名
- 7回 日時：平成5年2月10日（水） 13:30～15:00
 会場：広島大学工学部第2類C1-112号教室
 （東広島市鏡山一丁目4番1号）
 議題：間欠障害を伴うデータ伝送システムの最適方策
 講師：中川 暲夫 氏（愛知工業大学教授）
 参加者：17名
 （定例講演会）

5. 研究発表会 0回

6. ORサロン 1回

日時：平成4年8月 3日（月） 14:00～16:30
 会場：中国電力㈱
 議題：経営科学教育におけるパーソナルコンピュータの役割
 講師：有馬 昌宏 氏（神戸商科大学）
 参加者：25名

7. シンポジウム 0回

8. 研究部会

決定理論とその応用
研究会 5回

回数	開催月日	参加人数	内 容
1	5 / 22	18	テスト工程におけるソフトウェアの逐次的な信頼性予測に関する考察
2	8 / 28	24	ファジィ回帰分析とその応用
3	9 / 30	22	生産の計画と管理のためのシミュレーション・アプローチ
4	1 / 29	18	Optimal Control of A Finite Dam with A Sample Path Constraint
5	2 / 10	15	データ通信システムにおける selective-repeat ARQ方策の考察

9. ORセミナーの開催

日 時：平成4年10月27日（火）～10月30日（金）
会 場：広島県情報プラザ
参加者：24名
プログラム：別紙参照

10. OR企業サロン（本部主催）への協力

日 時：平成5年1月22日（金）
会 場：広島県情報プラザ
テーマ：(1) 木と住まいの事業の話
(2) 大和ハウスの驚異的成長はいかにして実現されたか
スピーカー：(1) 山根木材㈱代表取締役 山根 恒弘 氏
ゲストスピーカー：(2) 大和ハウス工業㈱代表取締役相談役
石橋 信夫 氏
参加者：90名

11. 支部創立25周年行事

(社)日本OR学会中国・四国支部
平成4年度決算報告書

1. 貸借対照表

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	13,507	前期繰越金	195,077
預 金(1)	284,465	当期運営残高	102,895
合 計	297,972	合 計	297,972

(1) 広島銀行 西条支店

2. 収支決算書

自 平成4年3月 1日
至 平成5年2月28日

科 目	予 算	決 算	備 考
(収入の部)			
本部交付金	438,400	438,400	
預金利息	2,000	2,562	
その他	0	0	
①合 計	440,400	440,962	
(支出の部)			
会 議 費	30,000	18,076	
講演会費	80,000	90,000	
研究発表会費	10,000	0	
ORサロン費	40,000	24,885	
シンポジウム費	150,000	0	
研究部会費	100,000	37,884	
通信費	90,000	98,368	
印刷費	30,000	55,000	
交通費	20,000	0	
事務費	70,000	12,204	
予 備 費	15,477	1,650	
②合 計	635,477	338,067	
③当期運営残高		102,895	①-②
④前期繰越金		195,077	
⑤次期繰越金		297,972	③+④

(社)日本OR学会中国・四国支部
平成5年度支部役員 (50音順)

支部長	尾崎 俊治	(広島大学)	(留)
副支部長 (4名)	大関 博	(マツダ)	(留)
	鈴木 知巳	(中国電力)	(留)
	數土 文夫	(川崎製鉄)	(再)
	成久 洋之	(岡山理科大学)	(留)
支部評議員 (12名)	石田 徳孝	(松山大学)	(再)
	井塚 滋夫	(川崎製鉄)	(新)
	河合 一	(鳥取大学)	(再)
	久保田洋志	(広島工業大学)	(留)
	坂和 正敏	(広島大学)	(留)
	住山 哲夫	(中国情報システムサービス)	(留)
	鳥居 裕	(四国電力)	(留)
	平木 秀作	(広島大学)	(留)
	廣光清次郎	(広島修道大学)	(新)
	藤永 靖彦	(宇部短期大学)	(留)
	向井 勉	(中電技術コンサルタント)	(留)
	山田 茂	(広島大学)	(新)
支部監事 (2名)	桑原兵二郎	(近畿大学)	(新)
	玉廣 靖司	(中国電力)	(再)
支部幹事 (18名)	井野口 稔	(中国電力)	(再)
	海生 直人	(広島修道大学)	(再)
	梶川 祐朗	(中国情報システムサービス)	(新)
	金子 雅彦	(川崎製鉄)	(留)
	亀多 正人	(マツダ)	(留)
	亀山 嘉正	(岡山県立大学)	(留)
	佐藤 泰司	(山口大学)	(再)
	田原 英孝	(日新製鋼)	(新)
	椿 康和	(広島大学)	(留)
	土肥 正	(広島大学)	(留)
	中村 仁士	(中電技術コンサルタント)	(留)
	日比野政彦	(三菱重工業)	(新)
	兵頭 正洋	(四国電力)	(再)
	松富 達夫	(近畿大学)	(留)
	松廣 斎	(広島工業大学)	(留)
	村上 義博	(広島大学)	(留)
本岡 正則	(中国新聞)	(新)	
渡辺 展男	(広島県立大学)	(留)	
支部顧問 (2名)	青木 兼一	(広島県立大学)	
	樞藤 元	(近畿大学)	
	(留) 留任	(再) 再任	(新) 新任

(社)日本OR学会中国・四国支部
平成5年度事業計画

- | | | |
|------|-----------|-----|
| 1. 総 | 会 | 1 回 |
| 2. 役 | 員 会 | 若干回 |
| 3. 幹 | 事 会 | 若干回 |
| 4. 講 | 演 会 | 4 回 |
| 5. 研 | 究 発 表 会 | 若干回 |
| 6. O | R サ ロ ン | 若干回 |
| 7. シ | ン ポ ジ ウ ム | 2 回 |
| 8. 研 | 究 部 会 | 若干回 |

線形モデルとその応用 主査：権藤
幹事：内海、住山

決定理論とその応用 主査：尾崎
幹事：海生、土肥

9. OR企業サロンへの協力
10. 支部創立25周年記念行事
11. 会員増強活動
12. ORセミナーの準備(実行委員会)
13. 平成7年度研究発表会の準備
14. そ の 他

参考資料

個人会員数推移状況

年 度	7 6	7 9	8 2	8 5	8 8	8 9	9 0	9 1	9 2
会員数	100	126	127	134	129	150	154	153	153

賛助会員数 9社(A・・・7社, B・・・4社)

(社)日本OR学会中国・四国支部
平成5年度支部収支予算

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
前期繰越金	297,972	会 議 費	50,000
本部交付金	438,400	講 演 会 費	100,000
預金利息	1,000	研究発表会費	20,000
		ORサロン費	40,000
		シンポジウム費	150,000
		研究部会費	100,000
		通 信 費	100,000
		印 刷 費	70,000
		交 通 費	30,000
		事 務 費	70,000
		予 備 費	7,372
合 計	737,372	合 計	737,372

(別紙)

ORセミナー

プログラム

10月27日(火)
基調講演と講義

挨拶	基調講演	講義1	講義2
実行委員長 権藤 元氏 (近畿大学)	"ORとは" 尾崎俊治氏 (広島大学)	線形計画法 平木秀作氏 (広島大学)	ネットワーク理論 石井博昭氏 (岡山大学)

10月28日(水)
講義

講義3	講義4	講義5
統計的方法とシミュレーション 金子雅彦氏 (川崎製鉄株)	設備投資計画法 海生直人氏 (修道大学)	ネットワークの信頼性理論 山田 茂氏 (広島大学)

10月29日(木)
演習

午前	午後	担当
B シミュレーション C PERT D 多変量解析法	A 多目的線形計画法 D 多変量解析法 E 信頼性理論	権藤 元氏 (近畿大学) 金子雅彦氏 (川崎製鉄) 住山哲夫氏 (CIS) 井野口稔氏 (中国電力) 山田 茂氏 (広島大学)
F マネージメントゲーム		羽藤憲一氏 (近畿大学)

17:00~18:30 懇親会

10月30日(金) 09:30~17:10 演習発表会と特別テーマ
09:30~10:30 演習発表会

特別講義	特別演習	事例研究
"ファジィ理論" 坂和正敏氏 (広島大学)	"ファジィ理論演習" 乾口雅弘氏 植村芳樹氏 (広島大学)	"製鉄プロセスへの ファジィ理論の適用" 井野勝己氏 (川崎製鉄株)

”ORセミナー”開催のお知らせ

日本OR学会中国四国支部

支部長 尾崎俊治

同ORセミナー実行委員会

委員長 梅藤 元

近年、各種システムにおいて生起する問題は多様化・複雑化してきています。このような問題の解決にORを援用することの有効性が注目されてきており、今後ますますORを意思決定の道具として活用することの必要性が高まるものと思われます。これは、複雑さの中に存在する法則性を発見し、その過程で立てた仮説を検証することにおいて、ORは重要な役割を果たしているからであります。

このようなことから当支部では、昨年、企業の若い方を対象にORの基礎から応用までを理解していただくための”ORセミナー”を開催いたしましたところ、大変に好評で定員を上回るご参加をいただきました。本年も昨年と同じねらいでより一層お役に立つようと工夫も加えて開催することとなりました。

このセミナーは各種手法についてわかり易く講義するとともに、講義のみでは理解しにくい問題解決へのアプローチについては、演習（1ないし2項目選択；詳細は、内容欄をご参照下さい）を通して体験していただけるように配慮しています。ORを学ばれるには非常に良い機会ですので、奮って参加されますようご案内申し上げます。

なお、最終日にはセミナー参加者の上司の方をご招待いたしまして、演習についての発表会を開催するとともに、最近の話題として「ファジィ理論」を取り上げ、講義のほかに演習も含めて丁寧に紹介いたします。

主催：日本オペレーションズ・リサーチ学会中国・四国支部

協賛：財団法人広島県産業技術振興機構

期間：平成4年10月27日（火）－10月30日（金）

会場：広島県情報プラザ（〒730 広島市中区千田町3-7-47）

定員：30名

参加費：賛助会員 40,000円、非会員 50,000円

申込方法：参加ご希望の方は、申込用紙に必要事項を明記の上、下記へお送り下さい。

（最終日に参加ご希望の上司の方の氏名もお知らせ下さい）

申込期限：平成4年10月13日（火）

送金方法：銀行振込 広島銀行本店 普通預金口座 No.2080931

口座名 日本OR学会中国四国支部ORセミナー

申込・問合せ先：〒724 広島県東広島市鏡山1-4-1

広島大学工学部第2類計数管理工学講座内

日本オペレーションズ・リサーチ学会中国四国支部（村上、土肥、山田）

電話 (0824) 22-7111 FAX (0824) 22-7195

==== 内容紹介 ====

10月27日(火)

10:00-10:15 挨拶

実行委員長 権藤 元氏

10:15-12:00 基調講演 “ORとは”

広島大学 尾崎 俊治氏

我々の周りのいろいろな運用・計画の問題を、科学的手法を駆使して、最適解を与え、意思決定に役立てる手法がオペレーションズ・リサーチ (Operations Research、略してOR) である。

ORの主な手法は数理計画 (LP、NLP、輸送問題、配分問題、スケジューリング、PERT)、在庫管理、待ち行列、点検・取替、ダイナミック・プログラミング、シミュレーションなどである。本講においては、これらの手法について説明し、その応用について述べる。

13:00-15:00 線形計画法

広島大学 平木 秀作氏

線形計画法 (リニアプログラミング、略してLP) は、経営科学 (Management Science) やOR (Operations Research) の実用分野で、著しい成果を挙げている。

本セミナーでは、(1)線形計画法とは何か (2)線形計画法の計算原理 (3)経営管理の諸分野における線形計画法の利用の実例 (4)線形計画法に対するコンピュータの利用方法を初心者にもわかりやすく解説する。

15:10-17:10 ネットワーク理論

岡山大学 石井 博昭氏

グラフは点とその間の線で表現されるが、さらに点や線に数値を対応させることにより社会科学、自然科学を通じて様々な関係を視覚的にも表し、その解明に役立つ。このように、グラフに数値を対応させたものがネットワークである。ここでは、組み合わせ最適化の観点からネットワーク理論全般についてお話する。この理論はOR自身の基礎にもなるので、そのことを考慮するつもりである。

10月28日(水)

09:30-12:00 統計的方法とシミュレーション

川崎製鉄(株) 金子 雅彦氏

本セミナーでは、ORを学習する上で必要となる「統計的方法」を概説し、次に、解析的に解を求めることが困難な場合や、現実実験することが困難であったり、多大な費用がかかる問題に対して、非常に有効なOR技法の一つである「シミュレーション」について述べる。特に、シミュレーションの講義では、対象とするシステム(系)を構成する要素の相互関係を明かにしたり、システム(系)全体の挙動を予測する場合に有効となる「モンテカルロ法」の入門に始まり、設備の複合能力算定・在庫の予測・複雑な系の待ち行列など、適用事例をふまえた実践的な学習を実施する。

13:00-15:00 設備投資計画法

修道大学 海生 直人氏

オペレーションズ・リサーチ的に設備投資を計画する際に重要な要素となる資金の時間的価値(現価、終価、年価)の基本的な考え方を示し、それぞれの時間的価値を求めるための公式および関係等を説明する。その上で、それらを使用して投資案の選択(独立案からの選択、排反案からの選択、混合案からの選択)を例題を解きながら説明する。さらに、設備の取替問題についても言及する予定である。

15:10-17:10 ソフトウェアの信頼性理論

広島大学 山田 茂氏

本セミナーでは、ソフトウェア開発における品質向上が生産性向上に寄与する最大の誘因であるとして、まずソフトウェア品質の計量化と管理法について述べる。次に充足されていて当たり前であり、不十分であると不満足感を与えるという「当たり前品質」としてのソフトウェア信頼性を最も重要な品質特性として考えて、基本的概念を整理する。さらに、その定量的評価技術であるソフトウェア信頼性モデルと、そのツールおよび実際の信頼性評価の例を示す。

10月29日(木)

演習

午前の部 09:30-12:30 午後の部 13:30-16:30

a～eまでのテーマのうち2つあるいはfのみを選択していただき、各テーマ半日(fは1日)の演習を行います。各テーマの内容については担当の方で準備しますが、特に解決すべき具体的な問題をお持ちの方は事前にご相談下さい。

a. 多目的線形計画法

近畿大学 権藤 元氏

まず、講義で学習した線形計画法をパソコンで演習し、次に、1つの問題について、モデリングの過程では制約条件と目的関数が入れ替わることもありうることを示しながら、目的関数を複数設定すると、どのように発展するかを討議しながら進める。

b. シミュレーション

川崎製鉄(株) 金子雅彦氏

本演習では、乱数を使った代表的なシミュレーション手法であるモンテカルロ法を、パソコンを用いて実践的に習得する。まず、2種類の確率を用いたデモの後、多段階の工程を持った工場における仕掛り在庫量の推移を、待ち行列型シミュレーションモデルにより評価し、適切な設備能力を決定していく。

c. PERT

中国情報システムサービス(CIS)(株) 住山哲夫氏

プロジェクト(工程)を計画、管理する手法としてのPERTについて、ステップごとに、教材による説明、例題を使っての具体的理解、演習問題による実習を繰り返し、PERTの考え方・手法の基礎を体得する。

d. 多変量解析法

中国電力(株) 井野口 稔氏

多変量解析法の代表的手法である重回帰分析を例題にもとづき解説した後、用意された問題について、どのように回帰モデルを描き、どのように対応して行くか、計算結果をどのように解釈するかなど実務的な討議を中心にしながら進める。

e. 信頼性理論

広島大学 山田 茂氏

講義「ソフトウェアの信頼性理論」に関する演習をプロジェクト管理に関係づけて行う。また、一般的な信頼性データ解析に関する演習も行う予定である。

(関数電卓をご用意下さい)

f. マネージメントゲーム

近畿大学 羽藤憲一氏

参加者1人1人が会社を設立し、その会社の社長となって数期間の経営を体験する。会社の経営は、市場盤・会社盤を用いたボードゲームにより進め、その中で1人1台のパソコンを意思決定支援システム(DSS)として利用し、経営情報システムのあり方も学ぶことができる。

懇親会 16:40-18:00

10月30日(金)

09:30-10:30 演習発表会

受講生

6つの演習について受講者の代表者が各演習のポイントを発表する。

10:30-12:30 ファジィ理論

広島大学 坂和正敏氏

1990年代の初めからファジィ・ブームが起こり、ファジィという言葉も人々に違和感のないものになってきている。本セミナーでは、歴史的背景から始めて、(1)ファジィ集合とその基本的性質、(2)ファジィ数とその演算、(3)ファジィ関係とその演算、(4)ファジィ推論の基礎 を数学的な厳密性を失うことなく、できるだけわかりやすく解説した後、ファジィ理論の応用についても若干触れる予定である。

13:30-15:30 ファジィ理論演習

広島大学 乾口雅弘氏 植村芳樹氏

ファジィ理論の解説に引き続き、より深くファジィ理論を習得するため、(1)ファジィ集合とその基本的性質、(2)ファジィ数とその演算、(3)ファジィ関係とその演算、(4)ファジィ推論 などの演習を多くの例題を用いて行う。

15:40-17:10 製鉄プロセスへのファジィ理論の適用 川崎製鉄(株) 井野勝己氏

ファジィ制御は経験的制御知識をプロダクションルールの形で表現し推論することによりプラントを制御しようとするものである。製鉄所の製鉄プロセスにおける2つの事例を紹介し、ファジィ制御の有効性や今後の課題について述べる。

ご参考

=====

昨年度参加企業

=====

*印は複数名参加を示す (順不同)

荒谷建設コンサルタント
出光興産
川鉄運輸*
川崎炉材
田中電機
中電技術コンサルタント*
中国計器

中国情報システムサービス
中国電力*
中国日本電気ソフトウェア*
中国富士通システム
日新製鋼
日本製鋼所*
ハイエレコンコーワ

日立情報システムズ
日立中国ソフト
広島ガス
細田システム
マツダ*
マツダC&T
YS企画

===== 昨年の受講者の声 をいくつか紹介しましょう。 =====

*大変ていねいな講義に感謝します。

*計算の手法を詳細に説明するよりは、計算原理とその応用面についての説明がありよかった。

*計算方法中心のものだけでなく、実際の企業活動でどのように活かされるかまで説明されたものがあってよかった。

*現実に従事していないので、ピンとこなかった。しかし、事象に対する取り組み方について知識が広がった。

*演習指導は非常にわかりやすかった。

*演習指導は講師に親密感がありよかった。

*演習指導は設定、内容、進行がとてもよいと思った。

*演習指導は進め方が全員のできに合わせてあったので、おいていかれてわからなくなることはなかった。

*演習内容を事前に詳しく紹介して欲しかった。

->今回は説明を付加した

*欲を言えば、各自が課題を持ち寄って演習を行うというのも是非やっていただきたい。->今後逐次そうしたい

*事例紹介は興味のあるテーマであり感銘を受けた。

*事例紹介はORと会社業務との融合についてわかりやすく説明されてやり、今後のOR活動を活発にしたい。

*ポイントをおさえた説明で、理解しやすかった。

*大変有用なわかりやすいセミナーでした。今後も継続させて下さい。(是非、社の他の人にも受講させたい。)

*まわりにあまり食事する店がない。弁当の予約があってもよいのではないか。

->今回はそうする予定

O R セミナープログラム

10月27日(火) 10:00-17:10 基調講演と講義

挨拶	基調講演	講義1	講義2
実行委員長 権藤 元氏 (近畿大学)	"ORとは" 尾崎俊治氏 (広島大学)	線形計画法 平木秀作氏 (広島大学)	ネットワーク理論 石井博昭氏 (岡山大学)

10月28日(水) 09:30-17:10 講義

講義3	講義4	講義5
統計的方法とシミュレーション 金子雅彦氏 (川崎製鉄(株))	設備投資計画法 海生直人氏 (修道大学)	ソフトウェアの信頼性理論 山田 茂氏 (広島大学)

10月29日(木) 09:30-18:00 演習と懇親会

午 前	午 後	担 当
a 多目的線形計画法 b シミュレーション c PERT d 多変量解析法 e 信頼性理論	a 多目的線形計画法 b シミュレーション c PERT d 多変量解析法 e 信頼性理論	権藤 元氏 (近畿大学) 金子雅彦氏 (川崎製鉄) 住山哲夫氏 (CIS) 井野口 稔氏 (中国電力) 山田 茂氏 (広島大学)
f マネージメントゲーム		羽藤憲一氏 (近畿大学)

演習終了後懇親会を開催します。

10月30日(金) 09:30-17:10 演習発表会と特別テーマ

特別講義開始前に演習発表会を開催します。

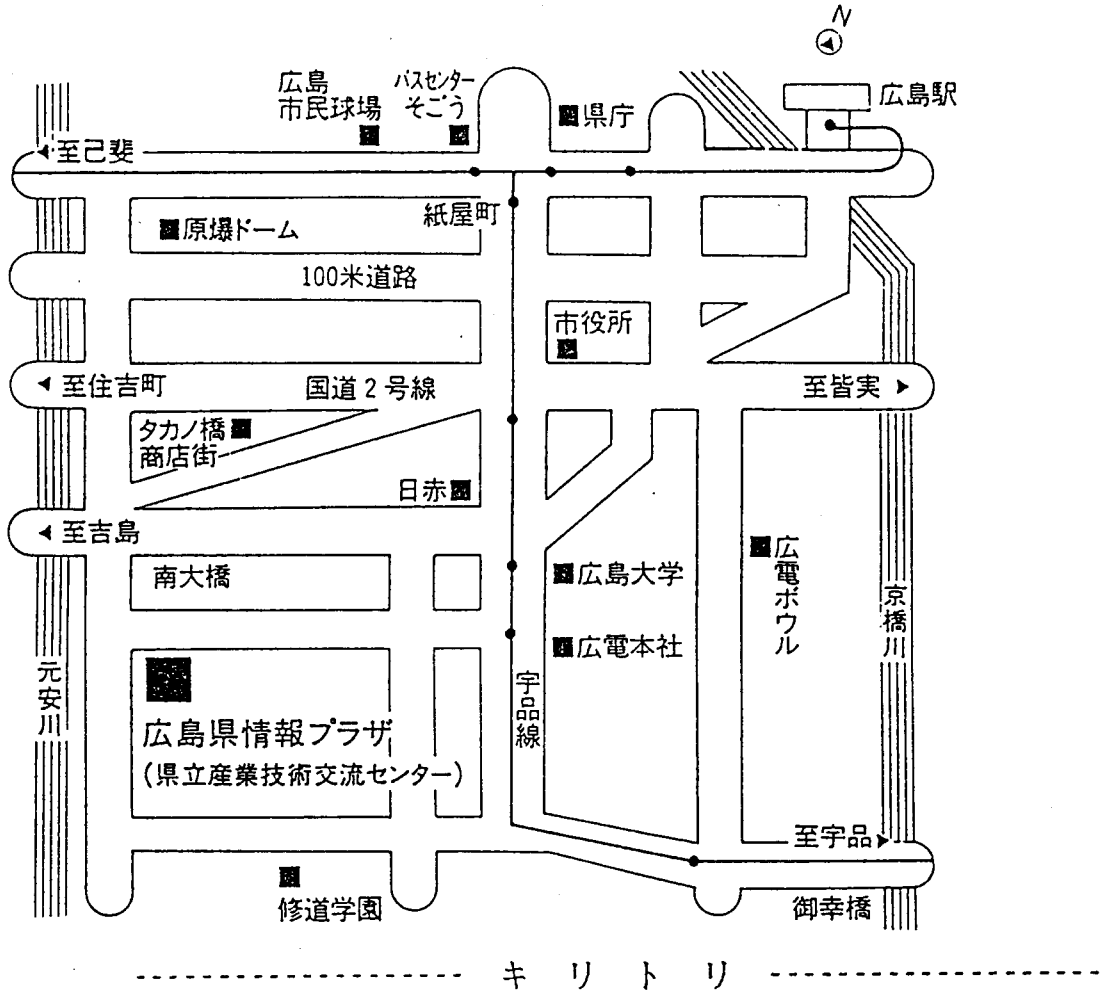
特別講義	特別演習	事例研究
"ファジィ理論" 坂和正敏氏 (広島大学)	"ファジィ理論演習" 乾口雅弘氏 植村芳樹氏 (広島大学)	"製鉄プロセスへの ファジィ理論の適用" 井野勝己氏 (川崎製鉄(株))

〈会場への交通〉

バス：JR広島駅より宇品・広島港行き（広島バス）で広電本社前下車徒歩7分

路面電車：JR広島駅より紙屋町経由宇品行き（①番）で広電本社前下車徒歩7分

タクシー：JR広島駅より情報プラザまで約20分



ORセミナー参加申込用紙

参加者名	演習希望順位 1位 2位 3位	勤務先・所属名	上司名

a～fを記入下さい ↑ 10月30日(ご招待)にご参加の方は○印を付けて下さい ↑

連絡先(勤務先住所・電話番号)			
支払金額 名 円	支払予定日 月 日	請求書 領収書	要・不要 要・不要

新設研究部会のお知らせ

中国四国支部では、本年度から「線形モデルとその応用」をテーマとする研究部会が下記のように発足しますのでお知らせします。第1回の部会開催日時も決っています。ご関心のある方は主査・幹事へFAX・電話などでご連絡されるとよいでしょう。

記

1. 研究部会名 「線形モデルとその応用」
2. 設立主旨 線形モデルは俗に言えば、積み上げ計算（単価×数量の積算）をベースに、意思決定者のなんらかの要求を取入れて構成されるといえましょう。企業では、線形モデルを意識するとしなないと拘らず広く活用されていると考えられます。線形計画法・重回帰分析などが代表的な線形モデルとしてあげられますが、その他線形モデルの範囲も広範におよびます。
そこで、研究部会では、広く企業で線形モデルがすでに活用されているあるいはこれから活用されるとよいといった話題を掘り起こしながら、一方では線形モデルを実用化の観点から一貫したモデルとしてまとめることを試みることにします。
3. 会合 原則として月1回
4. 主査・幹事
主査 権藤 元（近畿大学）
TEL 0823-71-9171
FAX 0823-74-5133
幹事 内海良夫（YS企画）
TEL 082-227-7571
FAX 082-227-7569
住山哲夫（中国情報システムサービス）
TEL 082-247-8521
FAX 082-247-7467
5. 第1回会合
日時 5月31日（月）16:00-18:00
所 中国情報システムサービス（株）会議室
広島市中区中町8-12（広島グリーンビル8F）
テーマ 1. 部会発足の主旨説明 権藤主査
2. 代表的線形モデルの事例紹介 内海幹事
3. 今後の進め方 参加者全員

裏面 会場略図

会場略図

